

## 中央アジア関連研究文献リスト 2006

本リストは、2006年に刊行された、原則としてイスラーム化以降の中国新疆及び旧ソ連邦のムスリム地域に関連する学術文献をリストアップしたものである（理科系のものを除く）。国内で刊行された、国内で活躍する研究者による著作に限定し、エッセイや事典項目等は除外した。なお、各文献の副題はコロンつなぎで統一した。

## 書籍

- Ieda Osamu and Uyama Tomohiko, ed. *Reconstruction and Interaction of Slavic Eurasia and Its Neighboring Worlds*, Slavic Research Center, Hokkaido University (非売品 [http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/coe21/publish/no10\\_ses/contents.html](http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/coe21/publish/no10_ses/contents.html) からダウンロード可)
- 岩崎雅美『中国・新疆ウイグル自治区の女性と生活環境に関する総合的研究』(平成15年度～17年度科学研究費補助金 基盤研究(B) 研究成果報告書) (非売品)
- 岩崎雅美『ウイグル女性の家族と生活：中国・シルクロード』東方出版 (2,400円)
- 王柯『20世紀中国の国家建設と「民族」』東京大学出版会 (5,000円)
- Obiya Chika and Kuroki Hidemitsu, eds., *Political Violence and Human Security in the Post-9.11 World* (JCAS Symposium Series 24, State Nation and Ethnic Relations IX), The Japan Center for Area Studies.
- 加藤九祚『アイハヌム：加藤九祚一人雑誌』東海大学出版会 (2,100円)
- カトリーヌ・プジョル著、宇山智彦・須田将訳『カザフスタン』(文庫クセジュ 904) 白水社 (951円)
- 川野徳幸『カザフスタン共和国セミパラチンスクにおける核被害解明の試み：アンケート調査を通して』(IPSHU 研究報告シリーズ研究報告 36) 広島大学平和科学研究センター (非売品 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/~heiwa/jrrj.html> からダウンロード可)
- 河原弥生・羽田亨一(校訂)『ムハンマド・ハキーム・ハーン著：選史』第2巻、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (非売品)

北川誠一・前田弘毅・廣瀬陽子・吉村貴之編著『コーカサスを知るための60章』明石書店  
(2,000円)

木村崇ほか編『カフカース：二つの文明が交差する境界』彩流社 (3,800円)

坂本勉『トルコ民族の世界史』慶応義塾大学出版会 (2,300円)

菅原純・河原弥生(編)『新疆およびフェルガナのマザール文書(影印)』第1集、東京外国語  
大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (非売品)

Stéphane A. Dudoignon and Komatsu Hisao, Eds. *Research Trends in Modern Central Eurasian  
Studies (18th-20th Centuries): A Selective and Critical Bibliography of Works Published  
between 1985 and 2000 Part 2*, The Toyo Bunko (5,150円)

ティムール・ダダバエフ『マハッラの実像：中央アジア社会の伝統と変容』(東洋文化研究所  
紀要別冊) 東京大学出版会 (8,500円)

豊川浩一『ロシア帝国民族統合史の研究：植民政策とバシキール人』北海道大学出版会  
(9,500円)

半谷史郎・岡奈津子『中央アジアの朝鮮人：父祖の地を遠く離れて』(ユーラシア・ブック  
レットNo.93) 東洋書店 (630円)

町田和彦・菅原純共編『周縁アラビア文字文化の世界：規範と拡張3』(GICAS叢書) 東京  
外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

森川哲雄・佐伯弘次編『内陸圏・海域圏交流ネットワークとイスラム』摺歌書房 (2,100円)

「明初中国と中央アジア・西アジア地域との間における外交言語の問題」(劉迎勝著・藤野月子訳)

「西安清真寺洪武25年聖旨碑」から見た元明期中国ムスリムの変容とネットワーク」(船田善之)

「元朝とイルハン朝の外交・通商関係における国際貿易商人」(四日市康博)

「シハーブッディーンと元代の行泉府司」(高栄盛著・小野裕子訳)、他所収

堀川徹編『中央アジアにおけるムスリム・コミュニティの成立と変容に関する歴史学的研  
究』(平成14年度～平成17年度科学研究費補助金 基盤研究(A)(1)研究成果報告書)  
(非売品)

「ムスリム侵入時のフェルガナ」(稲葉穰)

「中央アジアにおけるアラビア文字墓碑銘研究の試み」(井谷鋼造)

「テムル朝シャルフのウイグル文字テュルク語文書再読」(小野浩)

「ティムールとヤサ」(川口琢司)

「16世紀中央アジアのソユルガル下賜文書」(川本正知)

「系譜諸二通」(矢島洋一)

「ヒヴァ・ハン国におけるコングラト朝の成立とサイド・アタ信仰」(塩谷哲史)

- 「19世紀末ハザラスプの地区別戸主名一覧について」(堀川徹)
- 「ブハラ・アミール国末期の集落調査について：史料集『ブハラ・アミール国の集落（19世紀末-20世紀初）』を素材として」(木村暁)
- 「トルキスタン総督府における「異族人教育」活動の一端：教育セミナリア関連資料2点の紹介」(帯谷知可)
- 「イラン人下級官僚が見たジャンギャリー=ポリシェヴィキ同盟」(黒田卓)
- 「特集 I シンポジウム 21世紀ユーラシアのダイナミズム」『ユーラシア研究』35号
- 「はじめに」(斎藤 治子)
- 「クルグズスタンの「革命」とカザフスタンの「安定」」(宇山智彦)
- 「アムダリヤ川兩岸の灌漑をめぐる国際協力とケシ栽培問題の解決の可能性」(塚谷恒雄)
- 「ウズベキスタンの抱える問題」(ティムール・ダダバエフ)
- 「ユーラシアを束ねる「上海協力機構」」(堀江則雄)
- 「特集 コーカサスを読み解く」『ロシア・ユーラシア経済調査資料』893号
- 「独立後15年のアゼルバイジャン：石油ブームと権威主義体制の中で」(廣瀬陽子)
- 「アルメニアから見たロシア」(吉村貴之)
- 「グルジアにおける人間形成～比較研究の試み～」(関啓子)

## 論文

- 阿依努尔・艾孜木「中国・新疆ウイグル自治区における郷鎮企業の展開過程に関する研究」  
『酪農学園大学紀要. 人文・社会科学編』30(2), 149-193頁
- 阿布都西庫ル・阿布都熱合曼「中国新疆ウイグル自治区のウイグル族の民族誌的概況」  
『社会環境研究』(金沢大学)11, 353-369頁
- 阿布都西庫ル・阿布都熱合曼「新疆ウイグル自治区のウイグル族における結婚式の変容：  
アトシュに住む家族三世代の事例から」『人間社会環境研究』(金沢大学)12, 211-22頁
- 今堀恵美「市場経済におけるカシュタチ（刺繍屋）事業の誕生：ウズベキスタン・ショー  
フィルコーン地区の事例から」『社会人類学年報』(32), 57-84頁
- 今堀恵美「ポスト・ソヴィエト期におけるカシュタ（刺繍）制作と副業：ウズベキスタン・ブ  
ハラ州ショーフィルコーン地区の事例から」『日本中東学会年報』21, 113-140頁
- 岩崎雅美・村田仁代「中国・新疆ウイグル族の祈りと婚礼に関する服飾：2004年度ハミ地区  
における調査より」『家政学研究』52(2) (通号104), 79-87頁
- 宇山智彦「「個別主義の帝国」ロシアの中央アジア政策：正教化と兵役の問題を中心に」  
『スラブ研究』53号, 27-59頁

- 宇山智彦「クルグズスタン(キルギス)の革命:エリートの離合集散と社会ネットワークの動員」『「民主化革命」とは何だったのか:グルジア、ウクライナ、クルグズスタン』(21世紀COEプログラム「スラブ・ユーラシア学の構築」研究報告集16) 北海道大学スラブ研究センター, 41-77頁
- 宇山智彦・前田弘毅・藤森信吉「グルジア・ウクライナ・クルグズスタン三国「革命」の比較」『「民主化革命」とは何だったのか:グルジア、ウクライナ、クルグズスタン』(21世紀COEプログラム「スラブ・ユーラシア学の構築」研究報告集16) 北海道大学スラブ研究センター, 79-85頁
- 宇山智彦「ヒズブッタフリール(解放党)メンバーとの出会い」『スラブ研究センターニュース』104, 13-15頁
- 宇山智彦「クルグズスタンの「革命」とカザフスタンの「安定」:15年の政治・社会変動の結果を分けたのは何か」『ユーラシア研究』35, 3-8頁
- 岡奈津子「カザフスタン:権威主義体制における民族的亀裂の統制」間寧編『西・中央アジアにおける亀裂構造と政治体制』(研究双書No.555) アジア経済研究所(3000円), 211-248頁(第5章)
- Oka, Natsuko, "The 'Triadic Nexus' in Kazakhstan: A Comparative Study of Russians, Uighurs, and Koreans," in Ieda, Osamu et al. eds., *Beyond Sovereignty: From Status Law to Transnational Citizenship?*, Sapporo, Japan: Slavic Research Center, Hokkaido University, pp. 359-380.
- 岡奈津子「(講演記録)カザフスタン大統領選挙:約束されていたナザルバエフの勝利」『ロシア東欧貿易調査月報』51(3), 51-59頁
- オスマノヴァ・ラリサ「戦前の東アジアにおけるテュルク・タタール移民の歴史的変遷に関する覚書」『北東アジア研究』10, 45-66頁
- 帯谷知可「旧ソ連中央アジアの国境:20世紀の歴史と現在」岩下明裕編著『国境・誰がこの線を引いたのか:日本とユーラシア』(スラブ・ユーラシア叢書) 北海道大学出版会(1680円), 57-80頁(第3章)
- 帯谷知可「アンディジャン事件:ウズベキスタンにおける暴力の「現場」からの声をどう聞くか」押川文子編『紛争の総合的研究』(平成15年度~平成17年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告), 115-154頁
- 小沼孝博「「フンカル国」小考:18-19世紀のユーラシア東部におけるオスマン朝認識の一端」楠木賢道編『清朝における満・蒙・漢の政治統合と文化変容』(平成14年度~平成17年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書), 112-120頁

- 小沼孝博「ヤルカンド=オアシスに残る清朝支配期の史跡」『日本中央アジア学会報』2, 31-37頁
- 片岡一忠「近現代中国における「西北」への関心と研究の歴史」『歴史人類』34, 1-62頁
- 片山博文「中央アジアの体制転換とミレニアム開発目標（特集 ソ連解体から15年目のCIS諸国）」『ロシア東欧貿易調査月報』51(6), 41-55頁
- 河原弥生「『ホージャ・ハサン・サーヒブキラーン伝』: フェルガナ盆地における民間所蔵史料の研究」『アジア・アフリカ言語文化研究』71, 205-257頁
- 高明潔「一神教土着化の合理性: 中国イスラームの信仰体系と宗教活動に基づいて」『愛知大学国際問題研究所紀要』128, 21-48頁
- 小林善文「中国新疆ウイグル自治区の水資源問題」『神戸女子大学文学部紀要』39, 25-36頁
- 佐藤ゆき子「現代ロシアの政治エリートのイスラーム観に関する一考察: 2004年9月のベスラン事件におけるプーチン大統領の言説を手掛かりに」『スラヴ文化研究』5, 79-89頁
- 澤井充生「イスラームの呪医: 回族のバーバに関する覚書」『人文学報』(東京都立大学人文学部社会科学・首都大学東京都市教養学部都市教養学科) 371(社会学41), 47-64頁
- 清水学「中央アジア・南アジア・中東」山口博一・小倉充夫・田巻松雄編著『地域研究の課題と方法: アジア・アフリカ社会研究入門 理論編』文化書房博文社, 102-124頁
- 新免康「中国新疆のウルムチ(烏魯木齊)市の歴史的変遷」『都市と環境の歴史学』第2集(特集・国際シンポジウム: 東アジアの都市史と環境史-新しい世界へ-), 科学研究費補助金・基盤研究S「歴史的視角から分析する東アジアの都市問題と環境問題」(研究代表者: 妹尾達彦)
- 菅原睦「『クタドグ・ビリグ』から『五体清文鑑』まで: 中央アジア・チュルク語アラビア文字正書法の変遷」ユーラシア諸言語の研究刊行会編『ユーラシア諸言語の研究: 庄垣内正弘先生退任記念論集』ユーラシア諸言語の研究刊行会, 43-62頁
- 杉山雅樹「ムザッファル朝における支配の正統性: Mubariz al-Din Muhammad 治世の政策の変遷」『史林』89(5), 70-98頁
- 高橋浩ほか「2005年のCIS諸国の経済トレンド(特集 ソ連解体から15年目のCIS諸国)」『ロシア東欧貿易調査月報』51(6), 9-25頁
- 崔淑芬「新疆ウイグル自治区の教育現状」『筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部紀要』1, 189-200頁
- 中島隆晴「ウズベキスタンにおけるイスラーム統治の弾圧の実態」『シャリーア研究』3, 193-203頁

- 中島隆晴「軽視できない中央アジアのイスラーム勢力」『海外事情』(拓殖大学海外事情研究所) 54(9), 120-132頁
- 西村可明「移行国における年金改革」『経済研究』57(2), 165-187頁
- 西山克典「クルバンガリー追尋：国際情勢に待機して(1)」『国際関係・比較文化研究』4(2), 325-350頁
- 野田仁「清朝によるカザフへの爵位授与：グバイドウツラの汗爵辞退の事例(1824年)を中心に」『内陸アジア史研究』21, 33-56頁
- 長谷川理恵「中国新疆の元遊牧民の現在：北地域のカザフ族を中心に」『地域文化研究』4, 101-120頁
- バヒリディノフ・マンズル「ウズベキスタン共和国における近代国際法の受容及び外交の発展：シルクロード衰退期から不平等条約締結まで」『法學政治學論究：法律・政治・社会』法學政治學論究編集委員会, 227-258頁
- 華立「乾隆期の新教回民弾圧と新疆への波及」『東アジア研究』(大阪経済法科大学アジア研究所)45, 79-92頁
- 藤山正二郎「ウイグル社会の民俗宗教におけるタブーとジェンダー」『福岡県立大学人間社会学部紀要』14(2), 1-13頁
- 甫尔加甫・黒河功・志賀永一他「新疆地域における遊牧業展開基盤の変容：遊牧民の定住化施策の背景をめぐって」『北海道大学農経論叢』62, 77-87頁
- 堀直「ヤルカンドの街区：旧城内の歴史的プラン復原の試み」『甲南大学紀要 文学編』144, 11-39頁
- 前田弘毅「国境と民族：コーカサスの歴史から考える」岩下明裕編著『国境・誰がこの線を引きいたのか：日本とユーラシア』(スラブ・ユーラシア叢書)北海道大学出版会(1680円), 31-56頁(第二章)
- 松本ますみ「中国ムスリムに対するキリスト教宣教」『日本中東学会年報』22-1号, 141-171頁
- 湯浅剛「中央アジアにおける集団的アイデンティティ：地域秩序を形成する要因として位置づける」『ロシア・東欧研究』34, 37-47頁
- 湯浅剛「2005年の中央アジア諸国：キルギスタン、ウズベキスタンでの動乱とその余波」『アジア動向年報2006』(アジア経済研究所), 621-644頁